



Oracle Planning and Budgeting Cloud

2017 年 12 月 (17.12)

更新情報

ORACLE®

目次

目次.....	2
変更履歴.....	3
ORACLE PLANNING AND BUDGETING CLOUD (12 月更新).....	3
更新情報	3
Oracle Cloud Customer Connect のご案内	3
ドキュメントに対するフィードバックのお願い	4
Planning and Budgeting Cloud および Enterprise Planning and Budgeting Cloud 更新情報.....	5
月次更新スケジュール.....	5
標準インターフェース (Planning and Budgeting Cloud Workspace Interface) のサポート終了.....	5
ツリー・ビューのデフォルト設定.....	5
データ管理におけるメタデータのロード	5
計算マネージャの新規カスタム関数.....	5
計算マネージャの新規設計時プロンプト関数.....	6
ORACLE SMART VIEW OFFICE の新バージョン.....	6
新規 EPM スタート・ガイド	7
Enterprise Planning and Budgeting Cloud のみの更新情報	7
戦略モデリングにおける勘定科目グループの作成と編集.....	8
プロジェクト・ビジネス・プロセスのプロジェクト日付のリフレッシュ	8
サポートの終了について	8
クラシック・ディメンション・エディタ.....	8
Financial Reporting Studio のデスクトップ・クライアント版.....	8
修正された不具合	9
考慮事項	11

変更履歴

このドキュメントは、既存のセクションの変更および新しい情報の追加により、更新され続けます。すべての更新を次の表に示します。最新の更新情報が先頭に記載されています。

日付	変更内容	備考
2017年11月22日		初版リリース
2017年11月30日		新しく修正された問題点の説明が追加されました。 27166420, 27131061, 27089704, 27084538, 27072449, 27064039, 27039861, 27024619, 26993444, 26991539, 26989186, 26981647, 26976566, 26975070, 26942741, 26929766, 26812667, and 26645082. 修正された問題点として誤って報告された 26645082 の説明が削除されました。

ORACLE PLANNING AND BUDGETING CLOUD (12 月更新)

このガイドでは、近日公開される Oracle Planning and Budgeting Cloud および Enterprise Planning and Budgeting Cloud のリリースにおける最新情報と修正された問題点の概要について説明します。

更新情報

ORACLE CLOUD CUSTOMER CONNECT のご案内

EPM Cloud サービスをご利用のお客様は、ぜひ Cloud Customer Connect フォーラムへご参加ください。Oracle Cloud Customer Connect は、共通のゴールや目的について、メンバー同士が交流したり共同作業したりする場を集めたコミュニティ・サイトです。ここでは、最新のリリース情報や、イベントのご案内、またはユースケースの質問に対する回答などをご覧いただくことができます。登録には数分もかかりません。皆様のご参加をお待ちしております。

<https://cloud.oracle.com/community>

注記: 「設定およびアクション」メニューに、「Cloud Customer Connect」へのリンクが含まれるようになりました。このリンクにアクセスするには、ホームページから画面の右上にあるユーザー名の横にある下矢印をクリックし、「Cloud Customer Connect」を選択します。

ドキュメントに対するフィードバックのお願い

オラクルでは、更新情報や製品情報のドキュメントのコンテンツの改善に向けた、お客様からのご意見やご提案を募集しています。 EPMdoc_ww@oracle.com まで、フィードバックをお寄せください。Eメールの本文または件名に、お問い合わせまたはフィードバックのいずれかを記載し、該当の EPM Cloud サービスおよび月次更新サイクルを指定してください。

PLANNING AND BUDGETING CLOUD および ENTERPRISE PLANNING AND BUDGETING CLOUD 更新情報

月次更新スケジュール

オラクルでは、本サービスの最新の更新を、テスト環境へは 2017 年 12 月 1 日(金)14:00(PDT 米国太平洋標準時 UTC-7)、本番環境へは 2017 年 12 月 15 日(金)14:00(PDT 米国太平洋標準時 UTC-7)に適用します。この更新はお客様の次の最初の日次メンテナンス中に実施されます。

また 2017 年 12 月 1 日より Oracle Help Center で、最新のドキュメントをご覧いただくことが可能です。

標準インタフェース (PLANNING AND BUDGETING CLOUD WORKSPACE INTERFACE) のサポート終了

これまで Cloud Readiness ドキュメントにおいて通知されていた通り、この更新により標準インタフェース (Enterprise Planning and Budgeting Cloud Workspace) のサポートは終了しました。標準インタフェースについて報告されている問題への対応は終了となります。この変更は、2016 年 7 月 31 日までにサブスクリプションをアクティブ化した Planning and Budgeting Cloud Service のお客様にのみ影響します。これらのすべてのお客様は、ユーザーが簡易インタフェースを使用するための移行計画が必要です。

ツリー・ビューのデフォルト設定

複数レベルのフォルダ構造をより簡単にナビゲートするため、「フラット」ビューに対して「ツリー・ビュー」がレポートおよびタスクリストのデフォルトに設定されました。

データ管理におけるメタデータのロード

「データ管理」はフラットファイルからのメタデータのロードをサポートするようになりました。お客様はこの機能を使用して、すべてのソースからあらゆるフォーマットでメタデータ・ロード・ファイルを作成し、メタデータを EPM Cloud 環境にロードすることができます。このアプローチを使用すると、ユーザーはロードまたはマッピング処理中にプロパティのデフォルトを設定することができます。この月次更新では、メタデータのロードには標準、カスタム、および「Smart List」ディメンションのみがサポートされており、この機能は次のサービスのみでサポートされています。

- Oracle Planning and Budgeting Cloud
- Oracle Enterprise Planning and Budgeting Cloud
- Oracle Financial Consolidation and Closing Cloud
- Oracle Tax Reporting Cloud

計算マネージャの新規カスタム関数

5 つの新規カスタム関数が「計算マネージャ」に追加されました。既存関数が正の数値のみを返すのに対し、新規関数は計算結果に応じて正の数値または負の数値のいずれも返すことができることから、

これらの新規関数は、既存関数に対応しているものとなります。新規関数（およびそれらに対応する既存関数）は次のとおりです。

既存関数	新規関数
@CalcMgrDateDiff	@CalcMgrDiffDate
@CalcMgrYearsBetween	@CalcMgrYearsDiff
@CalcMgrMonthsBetween	@CalcMgrMonthsDiff
@CalcMgrDaysBetween	@CalcMgrDaysDiff
@CalcMgrWeeksBetween	@CalcMgrWeeksDiff

それぞれの関数に関する詳細な説明については「*Designing With Calculation Manager for Oracle Enterprise Performance Management Cloud*」の「Date/Time Functions」を参照してください。

計算マネージャの新規設計時プロンプト関数

新しい「@Length」設計時プロンプトが「計算マネージャ」でご利用いただけるようになりました。「@Length」はテキストの長さを返します。

この詳細については、「*Designing With Calculation Manager for Oracle Enterprise Performance Management Cloud*」の「About Design-Time Prompt Functions」で「@Length」を参照してください。

ORACLE SMART VIEW OFFICE の新バージョン

Oracle Smart View for Office 11.1.2.5.720 が 12 月初頭よりご利用いただけるようになります。このバージョンには次のような新機能が備えられています。

- 分かりやすい名前ではなく、「HypUIConnect」での接続文字列の使用をサポート。わかりやすい名前は引き続きサポートされます。
- 強化された拡張機能の更新ワークフローにより、更新された拡張機能のダウンロードをチェックするサーバーやサービスの選択が可能
- 1 回の操作で複数の次元からカスケード
- ビジネス・ルール・テンプレートの実行が可能
- 「HsGetValue」を使用した追加のデータ型のサポート: Smart Lists、テキスト、および日付
- フォーム上の浮動ツールバーの表示を抑制するオプション
- フォームおよびアドホック・グリッドのセルの列幅と行の高さを自動的に変更するオプション

このリリースではいくつかの不具合も修正されています。

リリース時点の Help Center にある Smart View 11.1.2.5.720 Readme には、このバージョンで対処された機能と不具合の全リストが備えられています。このバージョンをインストールして、2017 年 12 月の更新機能との互換性を確保し、新機能にアクセスしてください。この詳細な説明については、「*Getting Started with Oracle Enterprise Performance Management Cloud for Users*」の「Downloading and Installing Clients」を参照してください。

新規 EPM スタート・ガイド

この更新からは、すべての EPM Cloud Services の「サービス管理者」とエンド・ユーザーの「スタート・ガイド」情報を、次の新規ガイドから入手することができます。

- Getting Started with Oracle Enterprise Performance Management Cloud for Administrators
- Getting Started with Oracle Enterprise Performance Management Cloud for Users

「*Getting Started with Oracle Enterprise Performance Management Cloud for Administrators*」には、「サービス管理者」が EPM Cloud Services で実行できるタスクに関する情報が記載されています。すべての EPM Cloud サービスの共通管理情報を提供するこのガイドが、ユーザーとロールの管理、シングル・サインオンの設定、環境のバックアップと復元など、EPM Cloud 管理に関連するタスクについての主要なソースになりました。このガイドでは、以下のガイドの内容を参照することができます。

- Using Oracle Planning and Budgeting Cloud
- Getting Started with Oracle Financial Consolidation and Close Cloud
- Getting Started with Account Reconciliation Cloud for Administrators
- Getting Started with Oracle Profitability and Cost Management Cloud for Administrators
- Getting Started with Oracle Tax Reporting Cloud
- Getting Started for Administrators for Oracle Enterprise Performance Reporting Cloud

「*Getting Started with Oracle Enterprise Performance Management Cloud for Users*」では、エンド・ユーザーに Oracle EPM Cloud を導入し、迅速に習熟できるようにするための情報を提供します。このガイドでは、以下のガイドの内容を参照することができます。

- Getting Started with Account Reconciliation Cloud for Users
- Getting Started with Oracle Profitability and Cost Management Cloud for Users
- Getting Started for Users for Oracle Enterprise Performance Reporting Cloud

ユーザーがこれらのガイドにアクセスできるように、Cloud Help Center と Oracle Learning Library のリンクが変更されました。これらの新しいガイドが提示されるように、個人のブックマークとショートカットを変更してください。

ENTERPRISE PLANNING AND BUDGETING CLOUD のみの更新情報

戦略モデリングにおける勘定科目グループの作成と編集

Web 上の「戦略モデリング」で「勘定科目グループ」の作成と編集ができるようになりました。「勘定科目ビュー」の「アクション」メニューの「勘定科目グループ」をクリックします。

この詳細については、「WORKING WITH PLANNING FOR ORACLE ENTERPRISE PLANNING AND BUDGETING CLOUD」の「WORKING WITH ACCOUNT GROUPS」を参照してください。

プロジェクト・ビジネス・プロセスのプロジェクト日付のリフレッシュ

「プロジェクト詳細」フォームで「プロジェクト日付のリフレッシュ」メニュー・オプションを使用して、Enterprise Planning and Budgeting Cloud のプロジェクト・ビジネス・プロセスでプロジェクト日付をリフレッシュできるようになりました。次の場合、プロジェクト日付をリフレッシュして「直接費/直接収益」フォームの入力セルを有効にします。

- プロジェクトがインポートされた場合
- プロジェクト日付が変更された場合

サポートの終了について

クラシック・ディメンション・エディタ

2018 年 2 月 (18.02) の更新では、「ナビゲータ」の「ディメンション」リンクが「簡易ディメンション・エディタ」にリンクされます。2018 年 2 月 (テスト環境へは 2018 年 2 月 2 日、本番環境へは 2018 年 2 月 16 日) の更新からは、「簡易ディメンション・エディタ」が、ディメンションの編集と管理に使用できる唯一のインタフェースとなります。

「簡易ディメンション・エディタ」の使用方法的詳細については、「Administering Planning for Oracle Planning and Budgeting Cloud」の「[Editing Dimensions in the Simplified Dimension Editor](#)」を参照してください。

FINANCIAL REPORTING STUDIO のデスクトップ・クライアント版

オラクルでは、お客様へのシンプルで直観的なユーザー・エクスペリエンスの提供に積極的な取り組みを実践しています。これを実現するために、2016 年 3 月からご利用いただいている Financial Reporting Web Studio が、レポート設計および構築のための唯一の環境となります。

オラクルでは、ユーザーの Financial Reporting Desktop Studio から Financial Reporting Web Studio への移行のための追加時間を提供しています。暫定的な計画では、2018 年初頭に Financial Reporting Web Studio で Financial Reporting Desktop Studio で提供されている機能と同等の機能をご利用いただくことが予定されており、その時点でデスクトップ版の Studio のサポートは Web Studio に移行され、

Desktop Studio のサービスは終了となります。この移行は現時点で 18.04 更新(テスト環境へは 2018 年 4 月 6 日、本番環境へは 2018 年 4 月 20 日)に予定されています。

オラクルは、お客様が速やかに Financial Reporting Web Studio のご利用に移行されることを推奨します。ご不明の点やご質問がある場合は、サービスの「フィードバックの実行」オプションをご利用のうえオラクルまでお問い合わせください。

修正された不具合

更新がテスト環境に適用された際の最新情報については、このリストを再度ご確認ください。

不具合番号	摘要
27166420	最終更新を適用してから実行されたバックアップは、完了するまでに何時間もかからなくなりました。
27131061	Planning and Forecast Preparation 構成タスクにより、終了月が正しく設定されるようになりました。
27089704	Strategic Modeling Smart View 拡張機能により、一部のモデルを読み込む際にエラーが発生することがなくなりました。
27084538	Enterprise Planning and Budgeting Cloud のビジネス・プロセスは、コンテンツのアップグレードに成功しました。
27072449	ある期間から別の期間に取引期間を変更または移動すると、「期間 ID」が「期間ラベル」と一致しない場合のエラーが発生しなくなりました。
27064039	「計算マネージャ」では、「金額単位数」テンプレートの変更が保存され、スクリプトがルールに正しく表示されます。
27024619/ 26993444	既存のモデルから新しいモデルを作成すると、新しいモデルは、既存のモデルの通貨と単位を使用するのではなく、モデル作成時に指定された更新済みの通貨と単位を正しく保持するようになりました。
27045036	複数のグリッドがある「Financial Reporting」レポートの HTML プレビューが正しく表示されるようになりました。
27039861	「Smart View パネル」から「アプリケーションの削除」を実行すると、Web インターフェースの場合と同様に、「データ管理」アーティファクトが適切に削除されるようになりました。
27009032	UTF8 形式のマッピング・ファイルに BOM(Byte Order Mark)文字が含まれている場合でも、データ・ロード・ルールが正しく実行されるようになりました。
27049959	Enterprise Planning and Budgeting Cloud の「資本」ビジネス・プロセスでは、無形資産をあるエンティティから別のエンティティに移行する際に償却計算が正しく計算されるようになりました。

不具合番号	摘要
26998018	「タスク・リスト・レポート」では、ユーザーごとのタスク数とタスクの合計数が正確に提示されるようになりました。
26995802	Financial Reporting Web Studio では、メンバー選択を使用する勘定科目の選択が正常に機能するようになりました。アカウントを選択するようになりました。
26991539	「ナビゲーション・フロー」インタフェースでカードにアーティファクトを追加する場合、アーティファクト名がリストの最初の列で切り捨てられることがなくなりました。
26989186	最新のパッチ適用後にビジネス・ルールを実行する際のエラーが修正されました。
26988727	Enterprise Planning and Budgeting Cloud の「資産」ビジネス・プロセスでは、購入日が 12 月の資産のキャッシュ・フローと資金フローが正しく計算されるようになりました。
26981647/ 26975070	同じメンバーが 2 回表示された場合でも、「スマート・プッシュ」が正常に実行されるようになりました。
26980840	「ジョブ・コンソール」では、ジョブが完了した日（「昨日」など）の正しいラベルが表示されるようになりました。
26978967	プロジェクト日付の変更後、「プロジェクト日付のリフレッシュ」ルールを実行すると、直接費入力および直接収益入力フォームに有効期間が表示されるようになりました。
26976566	承認の注釈は、改行コードに HTML コードを表示しなくなりました。
26975317	Financial Reporting Web Studio から Excel に複数のレポートをエクスポートしてレポートを HTML 形式で表示する場合、エラーは発生せず、レポートが正しく表示されるようになりました。
26956760	Enterprise Planning and Budgeting Cloud の「財務」ビジネス・プロセスでは、「資産詳細」がカスタム・ディメンションとして定義されている場合、アプリケーション・スナップショットのインポートが失敗しないようになりました。
26942741	「タスク・リスト・レポート」で、グループに割り当てられたタスクが表示されるようになりました。
26942717	サービス更新後、キューブのディメンションが作成され、「財務」で有効化され、名前変更され、名前変更されたディメンションが「プロジェクト」、「ワークフォース」、および「資本」で使用された場合、キューブの「ベンダー」ディメンションは誤って有効化されることがなくなりました。
26940771	多数の属性ディメンションを含むフォームでは、ディメンションを行または列にドラッグ・アンド・ドロップできるように、「属性ディメンション」内でスクロール・バーが使用できるようになりました。
26929766	フォーム上の「保存」をクリックすると、ビジー・アイコン・インジケータが正しく表示されるようになりました。
26827049	Oracle Enterprise Planning and Budgeting Cloud の「プロジェクト」ビジネス・プロセスの会計年度が暦年でない場合の計算が、正しく機能するようになりました。
26812667	同じ Smart View クエリで動的時系列メンバーの YTD と QTD に同じ期間が適用される

不具合番号	摘要
	と、「行の非表示」オプション「データなし/データ欠落」が有効になっている場合でもデータが取得されるようになりました。
26780292	Enterprise Planning and Budgeting Cloud では、提供されたメンバーが「期間」ディメンションのカスタム・メンバー式で参照されると、アプリケーション・スナップショットのインポートが正常に完了するようになりました。
26759004	Financial Reporting Web Studio のチャートにラベルを追加できるようになりました。
26719130	Financial Reporting Web Studio の「リポジトリの検索」でレポートを実行する際のセキュリティの問題が修正されました。（以前は、「Apply Application Security to FR POV and Prompt」が「true」に設定されている際、階層全体の確認が可能でした）。
26478186	Financial Reporting Web Studio を使用してアップロードされたカスタム・フォントが正しく保存されるようになりました。
25985928	グラフの動的範囲が、Financial Reporting Web Studio と Financial Reporting Studio デスクトップ・クライアント版の両方で同様に機能するようになりました。（これまで、データセットに基づいて y 軸の範囲を変更するように設定されたレポートで、データ範囲が広すぎる、または狭すぎるグラフが作成されていました。）
26179898	「Workforce Planning」ビジネス・プロセスでは、「プラン開始」が現在の会計年度である場合、「ロードされたデータの処理」ルールが CurMnth から Yearrange のすべての当期以降の期間に新しいレートをコピーするようになりました。（これまで「ロードされたデータの処理」では新しいレートを CurMnth にのみコピーし、で当期以降の期間レートには以前のロード値が適用されていました。） ルールの実行前に新しいレートがロードされている年と月に代替変数「&CurYr」および「&CurMnth」の値を設定してください。

考慮事項

SMART VIEW で FIREFOX ESR 52.4.2 以降のバージョンをご利用の場合

Mozilla Firefox では、Smart View などの XUL ベースのアドオンのサポートが終了しました。Firefox の最新バージョンでは、新しい Web 拡張子のテクノロジーで構築されたアドオンと拡張機能のみが機能するようになります。このため、Smart View 11.1.2.5.710 および最新バージョンでは Firefox の ESR 52.4.1 までのバージョンのみがサポートされます。引き続き Smart View 11.1.2.5.710 で Firefox を使用される場合は、Firefox のブラウザをアップグレードしないでください。

Firefox のブラウザが自動的に更新をインストールするように設定されている場合、設定を「Check for updates, but let me choose whether to install them. (アップデートを確認しますが、インストールするかどうかは選択します。)」に変更することを、オラクルでは推奨しています。

Copyright © 2017 Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

This document is provided for information purposes only, and the contents hereof are subject to change without notice. This document is not warranted to be error-free, nor subject to any other warranties or conditions, whether expressed orally or implied in law, including implied warranties and conditions of merchantability or fitness for a particular purpose. We specifically disclaim any liability with respect to this document, and no contractual obligations are formed either directly or indirectly by this document. This document may not be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, for any purpose, without our prior written permission.

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.

Intel and Intel Xeon are trademarks or registered trademarks of Intel Corporation. All SPARC trademarks are used under license and are trademarks or registered trademarks of SPARC International, Inc. AMD, Opteron, the AMD logo, and the AMD Opteron logo are trademarks or registered trademarks of Advanced Micro Devices. UNIX is a registered trademark of The Open Group.

Integrated Cloud Applications & Platform Services

17.12